



## 10年前の約束を果たしました！

～ 諫早大水害を忘れずに次世代へ語り継ぐ想いを新たに ～

### ■ タイムカプセル開封式

平成30年3月10日(土)に諫早市永昌町にある駅前公園(通称:三角公園)において、10年前に地元の子供たちが昭和32年7月の諫早大水害について学んだ記録などを収めた「タイムカプセル開封式」が行われました。

タイムカプセルは、諫早大水害から50年の節目の年(平成20年3月)に、地元の小中学生が「まち」を歩きながら水害について学んだ学習記録や将来の自分宛の手紙などをステンレス製のカプセルに収めて駅前公園内の水害記念碑に10年後の開封を約束して埋めたもので、開封式では、主催である永昌東町自治会の木下自治会長にご挨拶を頂き、保護者など見守る中、当時カプセルを埋めた子供たち5名がカプセルを開封しました。



タイムカプセル開封直後に参列

#### <タイムカプセル開封>



当時の子供たちが、10年ぶりに掘り出された幅30センチ、高さ20センチのステンレス製のタイムカプセルの中は、どうなっているのだろうかと興味津々にタイムカプセルを開封しました。

#### <タイムカプセル開封後>



カプセルの中には、未来の自分に当てた手紙や水害が起きた本明川の改修工事の記録、水害から50年の年に報道されたニュースなどを収録したDVDが良好な状態で取り出され、参加した当時の子どもたちや自治会の関係者らが懐かしそうに見ていました。

#### <当時の活動状況の様子>



開封式後に永昌東公民館に移動し、早速カプセルから取り出した当時のDVDに収められた10年前のまち歩き水害学習の映像を鑑賞しました。参加者の1人は、「水害のことを忘れずに次世代に語り継いでいきたい」と力強く話してくれました。

# 地域防災の新たなステージに向けて本明川で実施！

～ 60年の節目に実施した防災・減災に関する取り組み ～



諫早大水害から60年の節目にふさわしいロゴマークとして、職員皆で知恵を出し合い、「諫早大水害(眼鏡橋)」を忘れずに語り継ぎ、未来に向けての安心・安全な「かわづくり」や「まちづくり」について、流域のみなさんと一緒に見つめたい想いを、知恵の象徴といわれるフクロウのまなざしをモチーフに作成し、今回取り組んだ様々なイベント等や、当所や諫早市役所職員の名刺に取り込むなど、広く周知できるよう活用しました。

5月14日 ～ 昭和32年7月の諫早大水害から60年の節目 ～

## 長崎で初めて「本明川総合水防演習」を実施！

長崎県初となる演習で、昭和32年7月の諫早大水害の洪水規模を上回る規模を想定し、本明川水害タイムラインに基づき実施。

防災行政機関や、幼稚園・小中高校生及び大学生を含む参加団体54機関及び多数のご来賓、一般見学者など、約1,600人が参加。



7月25日 ～ 諫早大水害を忘れないために次世代へ ～

## 今年で60回目の「諫早万灯川まつり」が開催！

諫早市では、毎年、諫早大水害が発生した7月25日に、23,000本の万灯が灯る本明川河川敷で「諫早万灯川まつり」を開催。

「まつり」を通して市全体が防災意識を高めていると共に、水害の教訓と伝承が次世代に語り継がれている。今回、九州地整局長が初めて出席し、改めて犠牲となった方々への追悼の辞を述べた。



6月2日 ～ 長崎県初の「本明川水害タイムライン」を作成 ～

## 「本明川水害タイムライン手交式」を実施！

本明川流域減災対策協議会での取組方針のソフト対策の一つであるタイムラインについて、平成28年11月より検討し、『本明川水害タイムライン(試行版)』を完成させ、平成29年6月2日に「本明川水害タイムライン」を諫早市長へ手渡し、運用を開始。



随時 ～ 職員全員で幅広くあらゆる場所で実施 ～

## 「巡回パネル展・出前講座」を実施！

これまでも実施していた防災パネル展や出前講座を、市報や広報誌等で幅広く募集し各地で実施。

また、諫早市美術・歴史館の「諫早大水害60周年記念展」とコラボレーションした防災展や、諫早市内の商店街での防災パネル展を実施し、職員自ら丁寧に説明し、幅広く市民への広報を実施。



7月23日 ～ 諫早大水害から地域防災の新たなステージへ ～

## 「本明川防災・減災フォーラム」を実施！

昭和32年7月の諫早大水害から60年の節目に、フォーラムを通じて諫早大水害を語り継ぎ、あの大水害を教訓に、地域の方とともに「地域防災力の向上」や「防災・減災」を目指すことを目的に実施。多数の一般見学者の皆様に参加頂き、1,200人が参加。



完成 ～ 諫早大水害の教訓と伝承のために ～

## 「水害写真集・体験記録」、「パンフ」を作成！

諫早大水害体験者7名の「体験記録」DVDや、「諫早大水害60周年写真集・体験者談」を作成し、諫早市に寄贈。また、防災情報を入手する手段、住民や地域が取るべき行動、避難時の行動等を記したリーフレットを作成し、防災出前講座の参加者や「本明川防災・減災フォーラム」の参加者等に2,800部の配布を実施。



【この資料のお問い合わせ】

長崎県長崎市宿町316-1 国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所 河川管理課 TEL:095-839-9211